



進んでいきますか？ 災害への備え

帯広市の防災

災害は、今、この瞬間も起こる可能性があります。慌てず冷静に正しい行動を取るためには、日ごろからの心構えと備えが必要です。

問い合わせ 総務課（市庁舎5階、☎65・4103）

帯広市で起こりうる自然災害

災害は、気候や地形など、地域特性によって危険箇所や被害想定が異なります。帯広市の地域特性に応じた、三つの自然災害の特徴を紹介します。

①地震

日本は地震が発生しやすく、北海道東部でも次のような巨大地震の危険性が指摘されています。

◆海溝型地震

被害の範囲が広く、巨大津波を伴うことも多い地震です。

北海道東部の千島海溝でも、過去に地震が繰り返し発生していつ地震が起きてもおかしくない状況です。千島海溝で地震が発生した場合、帯広市でも震度6強以上

◆活断層による地震

上になる可能性があります。内陸を震源とすることも多く、大きな揺れに見舞われる範囲は狭いながらも、生活圏に甚大な被害をもたらす危険がある地震です。

十勝・帯広には巨大な活断層帯が縦断していて、帯広市に近い活断層で地震が発生した場合、最大震度7との試算がされています。

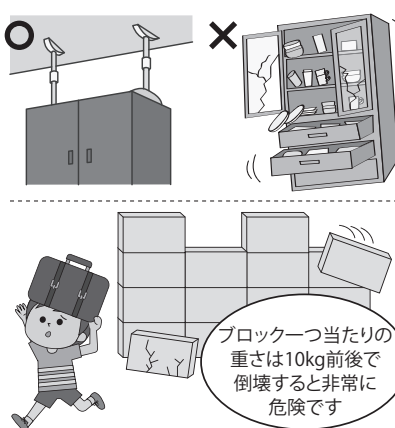
地震から身を守るために

地震発生時は、まずは自分の身を守ることを心掛け、表1を参考に行動してください。

これまでの大きな地震発生時は、家屋の倒壊や家具の転倒による圧死・窒息死が多く発生しました。

災害の発生に備えて、家具を壁や天井に固定させることや、倒れることも想定して家具を配置する

地震発生時	自分の身を守る
落下物に注意し、机などの下へもぐる。	
地震発生直後	安否確認
家族の安全を確認し、持ち出し品を用意する。	
避難	地域の集合場所へ
なるべく隣近所の人と声をかけ合い集団で行動する。	



ブロッカーつ当たりの重さは10kg前後で倒壊すると非常に危険です

③雪害・暴風雪

帯広市は、冬の最低気温が低く、

表2 風水害対策の心得

正確な気象情報を入手する
空模様不安定なときは、気象情報を注意深く聞きましょう。
非常持ち出し品を用意する
いつでも避難できるよう、非常持ち出し品(表3)を準備しましょう。
危険を感じたら速やかに避難する
避難勧告などの情報が発令されたら、速やかに避難行動を取りましょう。自分の避難所がどこなのか、日ごろから確認しておくことが大切です。

②風水害

帯広市は、大きな川に囲まれている、水害の危険が非常に高い地域です。

近年、台風による被害が頻発しているだけでなく、短時間に狭い範囲で極めて大量の雨が降る「ゲリラ豪雨」による被害も発生しています。

風水害に備えるには、表2を参考に行動してください。

近年は大雪による被害も発生しています。また、暴風雪による停電や屋根からの落雪による事故など、冬ならではの特別な対策が必要です。冬の防災に関しては、広報おびひろ1月号で詳しくお知らせする予定です。

日ごろからの備えが重要

大災害時には水道、電気、ガスなどが止まる可能性があるため、普段から非常食や飲料水などを備蓄することが大切です。

「面倒だから」「必要だけど、まだいいや」と思わず、いざというときに行動できるように、非常持ち出し品を備えましょう。(表3)

表3 非常持ち出し品リスト

1次持ち出し品	「1次持ち出し品」とは、避難時にすぐに持ち出すべき、必要最小限の備えで、被災時・非常時の最初の1日をしのぐための物品です。あらかじめリュックサックに詰め、玄関などすぐに持ち出せる場所に置きましょう。		
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬など	
<input type="checkbox"/> 電池	<input type="checkbox"/> ベットボトル飲料(500ミリリットル×6本)		
<input type="checkbox"/> 非常用食品	<input type="checkbox"/> 消毒薬	<input type="checkbox"/> レジャーシート	<input type="checkbox"/> 油性マジック
<input type="checkbox"/> ろうそく・ライター	<input type="checkbox"/> 脱脂綿	<input type="checkbox"/> サバイバルブランケット	<input type="checkbox"/> 筆記用具
<input type="checkbox"/> 万能ハサミ	<input type="checkbox"/> ガーゼ	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	<input type="checkbox"/> 現金(10円玉)
<input type="checkbox"/> 軍手・手袋	<input type="checkbox"/> ばんそうこう	<input type="checkbox"/> タオル	●下記は個々の事情によって必要性が異なります <input type="checkbox"/> 貴重品類 <input type="checkbox"/> 高齢者用品 <input type="checkbox"/> 女性用品 <input type="checkbox"/> 赤ちゃん用品
<input type="checkbox"/> ロープ	<input type="checkbox"/> 包帯	<input type="checkbox"/> ポリ袋	
<input type="checkbox"/> ガムテープ	<input type="checkbox"/> 三角巾	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー	
<input type="checkbox"/> 毛抜き	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	

帯広市の防災の取り組み

帯広市では、市民の皆さんの防災に関する意識を高めてもらうため、さまざまな取り組みを行っています。各取り組みの詳細や講座の申し込みは総務課へ。

参加者募集中 身近な防災について知りたい **防災セミナー**

毎年、市町内会連合会と連携し、市民向けに防災意識の向上を目的として防災セミナーを開催しています。災害の専門家の話や、実際に大災害を経験した人の体験談など、さまざまなテーマを設けています。当日参加できます。

日時 7月27日(金)、14時30分～16時30分
場所 とかちプラザ(西4南13)

参加者募集中 防災訓練に参加したい **地域防災訓練**

今年度は「地震」を想定した訓練です

毎年、市町内会連合会と共催し、住民参加型の訓練を実施しています。今年度は広陵連合町内会と共催で行います。広陵連合町内会以外からの参加希望者は、総務課へ申し込みください。

日時 8月26日(日)、9時～13時
場所 明和小学校(西19南4)

随時申し込み 親子で防災を学びたい **親子防災講座**

P.T.Aなどと連携し、小・中学校の児童・生徒とその保護者を対象に、親子防災講座を行っています。防災に関するカードゲームや防災キャンプなどを通して、楽しく防災知識を身に付けます。

冬の対策はどうしたらいいの？ **冬季防災訓練**

真冬は氷点下20度を下回ることもあり、普段からの備えに加えて、雪や寒さを考えた防災対策が必要です。冬季防災訓練では、冬の災害を想定した救助訓練や学校に宿泊して避難所生活も体験します。

冬季開催予定

何を備えればいいのか？ **防災グッズ展**

毎年1月に市民ホール(市庁舎1階)にて、日ごろから家庭で備えてほしい防災用品や、市で備蓄している資機材、市の防災の取り組みなどを紹介しています。100円ショップでそろった身近な防災グッズも展示します。

随時申し込み 町内会などみんなで防災を学びたい **防災出前講座**

町内会や団体などの依頼に応じて、市職員などが訪問する出前講座を行っています。講座では、地震や水害への備えについての話や、地域の特性に合わせた避難方法などを説明します。